

豊田高専広報

第124号

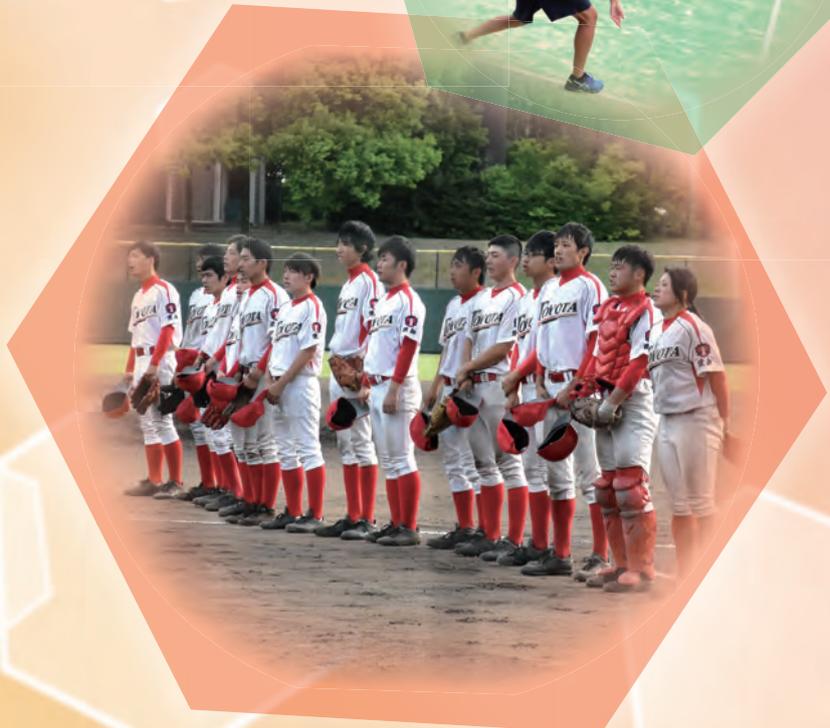
2019.10.28

National Institute of Technology (KOSEN), Toyota College



CONTENTS

- 01 巻頭言
- 02 スキー教育
- 03 第1学年合宿研修
- 04 全国高校生読書体験記コンクール
- 05 豊田高専に入学して
- 07 寮祭
- 08 ロボカップ世界大会2019
- 09 新留学生紹介・外国人留学生歓迎会
- 11 海外留学体験
- 13 フォトカレンダー(2・3・4月)
- 14 フォトカレンダー(5・6・7月)
- 15 高専体育大会報告(記録)
- 16 高専体育大会体験記
- 17 新任教職員紹介
- 20 体験入学
- 21 ICTのインフラ整備から
情報セキュリティ教育まで
- 22 学生サポート室
- 23 フォトカレンダー(8・9月)



あたらしい時代を拓く グローバル人材の育成

たがわ ともひこ

校長 田川 智彦

高等専門学校は、高等教育機関としての中期目標を掲げこれに沿って運営されます。今年度は、新しい5年間「第4期中期目標期間」の第1年目です。令和という時代の幕開けとともに、高専も新時代を拓く技術者育成の第一歩を踏み出しました。

本校では、年度当初から本校の特徴を活かした年度計画を策定し、実行しています。その内容は多岐にわたりますが、志願者確保や教育体制充実など従来の課題に加え、社会連携による地域への貢献、学生の交流も含めた国際化、ソサエティー5.0に対応した教育高度化などが新しいキーワードとなっています。本校では、これまでの社会連携・地域貢献体制を強化するとともに、あたらしい時代に向けた大きな改革を開始しました。

ひとつは、4月1日の「マルチメディア情報教育センター」から「ICTセキュリティ教育センター」への改組です。全学的な情報セキュリティ教育を充実させるとともに、次世代モビリティ社会に対応するネットワークエンジニアを養成します。詳しくは本誌21ページをご参照ください。

もうひとつは、あたらしい時代を拓くグローバル人材の育成です。本校はこれまで、特色ある教育として、英語多読教育と長期海外留学に取り組んできました。本校は、国際化＝海外英語研修という考え方はとらず、異文化理解のため長期海外留学を推奨し、学生は1年間休学して、ホームステイで現地の高校に通い、異文化に触れ、理解して大きく成長します。希望者が多いため、人数制限を行い、低学年(2-3年生)約40名が毎年留学します。

一方で、コミュニケーションツールとしての英語能力の習得は、5年間というまとまった時間を上手く利用した「英語多読教育」によっています。あわせて、パワーランチやイブニングセミナーといった課外活動も実施し、TOEICスコアの向上という目に見える成果を生んでいます。

「グローバルに活躍する技術者の育成」という視点からは、専門(工学・技術)分野を背景とした国際交流への展開も重要です。残念ながら、これまで海外大学との協定交流は行ってきませんでした。そこで、5月にはタイ国のシラパコーン大学と、7月にはヨルダン国のアルバルカ応用大学と相次いで連携協定を締結し、交流の端緒を開きました。

シラパコーン大学は芸術系ではタイ国最高峰とされる国立大学ですが、最近では総合大学として存在感を増しています。協定調印により同大学の夏季プログラムに招待され、4年生と5年生から各1名の学生と引率教員1名が9日間の工学プログラムを体験しました。一方、アルバルカ応用大学はヨルダン各地にあるカレッジを統合してできた国立大学で、成り立ちが高専機構に近いので、各種課題の共有ができます。中東の安定は世界平和に直結しており、産業を安定的に持続できる技術者の育成に貢献すべく、同大学の学生や研究者の受け入れを検討しています。

協定大学の学生との交流は、留学に出る機会のなかった学生諸君のグローバルマインド醸成に大きく貢献します。こうした取り組みにより世界に羽ばたいて新しい時代を拓く人材が育つことを大いに期待しています。



ヨルダン王国アルバルカ応用大学と学術交流協定を締結
(アルバルカ応用大学マトック学長代理(左)と田川校長(右))(本校にて)

スキー教育

平成最後のスキー教育研修

おいかわ だい
電気・電子システム工学科 准教授 及川 大

平成から令和に元号が変わると共に、社会も様々なものが変わろうとしています。変えたくないものがあります。その一つは豊田高専におけるスキー教育研修です。2学年学生が全員参加するこの行事は、約40年前に始まり、マイナーチェンジを経て現在の形態になりました。学生(教職員)も非常に楽しみかつ重要な行事だと考えています。

平成30年度のスキー教育は、3月3日～5日の日程で、例年と同じ志賀高原高天ヶ原マンモススキー場及びその周辺のスキー場で行われました。本年度の参加者は、216名であり、スキーの102名に対しスノーボードが114名で例年通りほぼ半々の割合です。

昨年度は気温が高く、天候が雪ではなく雨が降るといった極めて悪い条件でした。一方、今回は平成最後のスキー教育を祝うべく天候に恵まれスキー・スノーボードを堪能できたと思います。また、大自然の中で気持ちよく滑ったり、転がったりしてリフレッシュ効果も抜群でした。志賀高原は雪質、滑走面積、コースのバリエーションどれをとっても日本屈指のゲレンデです。初めてスキー・スノーボードを行う学生にはもったいないかもしれないゲレンデですが、初スキー・スノーボードであった学生も上達し、3日目には最も標高の高いゲレンデから雄大なアルプスを望みながらスキー・スノーボードを楽しむことができた学生も多かったと思います。

以前は、本校教職員やOBが技術指導に当たるという形で実施してきましたが、様々な事情により、現在は現地指導員による指導体制に変更されました。この指導体制の変更によってスキー班とスノーボード班を分けることが可能になり、スノーボード志向の学生にも対応できるようになりました。また、現地を知り尽くし、技能も指導力も申し分ない指導員が指導することにより、技能の向上はもとより安全面も大きく改善され、大きなけがをする学生はほとん

どいなくなりました。さらに、指導員は気さくな方ばかりで、これによってスキー・スノーボードをより一層好きになった学生も多かったのではないのでしょうか。

引率した教職員も学生と一緒に雪まみれになりレッスンを受講したり、広範囲のゲレンデを滑走し卒業アルバムのネタになるような写真を撮影したりと、学生の様子を現場の最前線で確認できて嬉しく思います。また、スキー教育に行く前は「スキーなんて…」と冷やかなコメントを言っていた学生も、当日は他学生と技能を自慢しあい、その日にいったゲレンデの感想で盛り上がり、とても楽しそうでした。

スキー・スノーボードの実技研修だけでなく、志賀高原の極寒の中で行われた朝体操では山の天候の厳しさを実際に体験しました。初日の夜に行われた全体ミーティングではスキー・スノーボードの楽しみ方や、エッジの危険性などを楽しく学ぶことができたと思います。

スキー教育後に学生が行なったアンケートでは、学校行事の中では群を抜いた高評価であり、今後もぜひ継続してほしいとの意見が圧倒的でした。このスキー教育研修を末長く続けていきたいと思いますので、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



第1学年合宿研修

6月14日～15日美浜少年自然の家

キャリア教育支援室長 機械工学科 教授 清水利弘



合宿研修はキャリア教育支援室による1年生の行事です。今年度で9年目を迎え、年中行事として定着している感があります。しかし、1年生にとっては、1泊2日とはいえ、初めての同級生との合宿行事であり、期待と不安の入り混じる行事となっているようです。



どんな事
するんだろう

貸し切りバスで
噴水前をスタート!



二日間
がんばって
ください

入所式. 校長先生に
来ていただきました



研修1説明



研修1開始



俺たち
話するの
初めてだよ

作戦を練る



えー!
そんなこと
言われても

研修1発表



長縄跳び

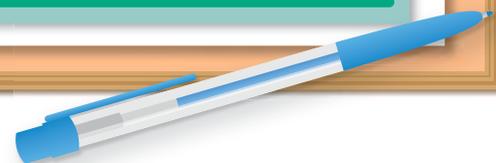


結構理想的な
クラスだよ
うちら

研修3



研修3発表



読書体験記

第38回全国高校生読書体験記コンクール

主催 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会

後援 文部科学省・全国都道府県教育長協議会・全国高等学校長協会、集英社、中日新聞社等全国の新聞社



受賞者 建築学科3年 うえだ ゆづき 上田 悠月

表題 選択と道 (『子育てをしながら建築を仕事にする』成瀬友梨編著)

*県別審査(各都道府県5編、内最優秀賞1編)の結果、愛知県の5編に入選。
全国で約10万編の応募のあった中での受賞。

選択と道

豊田高専の建築学科に入って、働いて一級建築士の資格を取って、早めに結婚と出産をする。子供が自立した後は幸せな老後を送りたい。いつか自分は友達にこのような事を話していた。だがしかし、当たり前のように人生は予測不可能なもので、高専入学から一年半が経った今、建築系の仕事に果たして就くことができるのだろうかとは私は不安になるときがある。さらに衝撃を受けたのが、ある先生の言葉だった。「同じ能力の男女がいるとすると、企業は間違いなく男をとる。だから、女性は男性よりも能力がある事を示さなあかんねん。」

今まで、女として生まれてきて後悔した事は無かった。だが、その時だけ周りの男の人が少し羨ましく思えた。女性のほうが不利という傾向が社会に残っているように感じないこともない。ある大学は、入学試験において、女子受験生の点数を一律下げているとニュースで見た。女性だから、そのような理由がこの後の人生に影響を及ぼすなんて事は私は最近知った。出産と子育てか、仕事か。おそらく悩む時期は来るだろう。そんな事を考えていた時、ある本に出会った。『子育てをしながら建築を仕事にする』。本を読む前、私はタイトルを見て、器用なことをする人がこの世にはいるのだなと思った。しかし読んでゆくにつれ、私の持っていたいくつかの考えが覆された。

まず、仕事と子育てを両立するためには、時間の使い方をデザインし、それを共有するのが大事だと分かった。本で紹介されているある企業では、「時間デザイン制度」というものが導入されている。いかにも建築事務所らしい名前が面白い。時間内に効率良く成果を出すと同時に、子育てなどをしながら働くことへの意識のハードルが下がる、という素晴らしい制度だ。別の企業では、仕事時間の数割を個人プロジェクトに充てられる「自由研究制度」がある。これらの制度は、仲間同士でそれぞれのことを共有したうえで成り立っていると思う。時代に合わせてそれぞれの企業で柔軟に制度が作られていることを知って、私のなかの企業そして働く事

へのイメージが変わった。長時間労働や、育児休暇が取りづらい、そんな負のイメージしかなかった。ひとの一生を担う人々が、働き方についてもアイデアを出し、良くしていている事に対しても驚いた。次に、この本の中でお話しされている方には共通している事があった。それは、全員が三十代で第一子を授かっているということだ。私は勝手に、三十代の出産は遅いと考えていた。子供が自立するまで働いて、育てることができるのか分からないからだ。しかし、子供を授かったら、さらにそれを原動力として働く人々の話を読んで、新しい生き方が私の中で思い浮かんだ。これらを受けて建築の仕事は、資格を取り、勉強や実務経験を確実に積み、何歳でも自分が続けたい時までできるのだと考えた。好きなことを仕事にしている方々はとても輝いており、とても魅力的だ。私もそのようになりたい。

そして本の内容からだけでなく、私の本を読み将来について考えるという行動自体も私の中の考えを動かした。楽天的な私だが、自分が傷ついたりすることが怖いので、あまり働く事についての現実を知ることは避けてきた。そんな自分があまり好きではなかった。しかし、行動したことによって違う意見に刺激を受け、考えが変わった。行動をした後に、得るものがあるのかなのか分かれると感じた。悩みやすい自分が嫌だったが、今ではそれも悪くないと肯定できる。

将来について様々なことで悩んでいたが、この本を読んで前向きな考えをするように意識するようになった。時代の変化によって建物が変わるように、それを作る人々も変わってゆく。私が就職する時はどの様になっているのか想像できないが、子育てと仕事の両方を選択したいと思っている。建築に関することについてもそうでないことについても、柔軟に考え、アイデアを出すことが必要とされる。様々な人の話を聞いたり、本を読んだりして視野を広げつつ、自分がいいと思う方向へ進んでゆきたい。今既に、道はつくられている。私は将来どのような選択をし、人生という道を歩んでゆくのだろうか。

注)この体験記は上田さんが2年の時に記したものです

豊田高専に入学して

女学生の青春

豊田高専には学生寮があり、学生の多くが生活を共にしています。

私は春より、大志寮に入寮しました。寮生活を始めてまだ2ヶ月ですが、私が感じた大志寮の素晴らしい点を紹介します。

まず一つ目は、「綺麗」な事です。綺麗であるがために汚れは目立ちますが、班長のご指導のもと、週2回の掃除で大志寮の「綺麗」は保たれています。また、「気づいた人がやる」を推奨しており、気づいた人が進んでゴミ袋の交換などを行っており、人への思いやり、気遣いの大切さを確認させられます。

二つ目は、先輩たちとの「距離が近い」事です。寮には各フロアに班長と指導寮生がいます。私は、3年生の先輩と相部屋をして

あずま ゆかこ
建築学科 1年 東 由佳子
豊田市立逢妻中学校出身



おり、とても親しくしていただいています。指導寮生の部屋へ勉強を教わりに行ったり、お菓子パーティーを開いたりします。1フロアの人数が少ないので、指導寮生や班長と接する機会が多く、心身ともに近い関係です。

「女の子はお砂糖とスパイスと素敵な何かでできている」というマザーグースをご存知ですか。大志寮にはそれを体現した方がたくさんいます。

是非とも寮に入って、素敵な先輩、同輩と素晴らしい青春を謳歌しましょう。

新たな挑戦

僕は、高専生活の魅力の一つに、「部活動」があると思います。4つも年の離れた先輩と一緒に必死になることができる、素晴らしい機会だと思います。

僕は、豊田高専の弓道部の一員として活動しています。豊田高専の弓道部は数多くの大会で様々な成績を残しています。先日、東海地区高専大会でも全国高専大会への出場資格を勝ち取りました。

僕は弓道未経験者として弓道部に入部しました。未経験者のため、弓道のことを何も知らないまま入りました。

当然のことながら、とても不安でした。ひとつひとつの動作が

よしだ とうご
環境都市工学科 1年 吉田 透吾
岡崎市立竜南中学校出身



細かくて難しく、なかなかうまくできませんでした。先輩の方々は優しく丁寧にわかりやすく教えてくださいました。そのおかげで、初めのうちはぎこちなかった動作も少しずつ様になってきました。また、部活動の練習の雰囲気もとても明るくて、楽しく練習できます。

まだまだ僕は未熟です。わからないこともまだまだたくさんあります。しかし、これからの5年間で、しっかり努力し、大きく成長できるように頑張っていきたいと思っています。

高専生活の彩り

豊田高専には多彩な部活や会があることをご存知ですか？その中でも文化系の部活や会には他校にはない珍しい活動をするものもあります。

その例となるのが、私が入部しているジャグリング部です。ジャグリングには複数の物を投げたり取ったりする動作を繰り返すものや、ディアボロと呼ばれる大きなこまを操るものなどがあります。私は先輩方に教えていただきながら3つのボールを操る練習をしているのですが、兼部をしていることもあり、なかなかジャグリング部の活動に参加できず、五月に行われた寮祭のステージ発表ではあまり長く続けることができず、そこで、私は先輩からの助言をいただき、次の発表で同じことを起こさないため

まつだ さわ
電気・電子システム工学科 1年 松田 紗和
豊田市立浄水中学校出身



に家で練習をしています。練習をしたらした分だけ、だんだん長く続けられるようになり、とても楽しいです。このまま努力を続け、4つのボールを操れるようになりたいです。先輩が練習をしているディアボロやデビルスティックという棒を操るものも動きがダイナミックでかっこいいので5年間の間に挑戦したいです。

私が入部しているジャグリング部以外にも、茶道部や演劇部、囲碁・将棋部など多彩な文化系の部活や会がこの豊田高専にあります。女子が入部可能な運動部も充実しているので、高専生活を自分の色に彩っていこうと思います。

I LOVE 高専ロボコン

いしかわ けいと
情報工学科 1年 石川 慶人
名古屋市立有松中学校出身



高専と言えば??そうロボコン!! 僕は中学の頃からロボコンをやっていて、もっと高い技術を得たいと思って入学しました。そして僕もロボコンBに所属しています。

ロボコンBに入って最初に思った感想は「先輩たちが面白くてめっちゃやさしい!!」です。プログラミングも何もかも初心者の僕やほかの1年生に一から丁寧に教えてくれて、しかも気さくにしゃべりやすい雰囲気まで作ってくれます。入りたての僕でも4年、5年生の先輩とも冗談を言って笑い合えるほど仲良くなりました。

ロボットと聞くと、とても難しいというイメージを持たれる方が多いと思いますが、そんなことは決してありません。なぜなら一人で作るわけではないからです。1台のロボットに何十人もの汗と努力が詰まっています。設計班は矛盾のない作りやすい設計を。機械班はとてつもない精度をだす匠の技を。回路班は安全でか

つノイズや大電流などを扱える基盤を。プログラム班はほかの人が見てもわかりやすく、高性能なプログラムを。と皆で分担して行います。ですので「すごい!!」と思わせるロボットを作ることができるのです。

そんな楽しくてしょうがないロボコンに入ったら思い浮かべたことは何でもできます。様々な分野に富んだ先輩方がいるので、「これやってみたい!!」と思ったらすぐに実現させることができます。実際に僕もスマホゲームを自動化するロボットを作っています。

今、あなたができないと諦めていることを容易に可能にしてくれるのが高専です。ぜひこの楽しさを感じてください。

寮生活のありがたさ

ぼんの こうすけ
機械工学科 1年 坂野 孝介
犬山市立東部中学校出身



僕はまだ寮生活を初めて1年も経っていません。ですが、これまでの寮生活は僕を変えてくれたと感じています。

中学までの生活は、帰れば家族がいて、ゲームもテレビもやり放題。ですが、寮生活では、同じ部屋に友達がいる、テレビは無く、もちろんテレビゲームもない。洗濯をするのも自分、ご飯もお風呂も決まった時間に行く。家と大きく違う環境に初めは不安しかありませんでした。ですが今、寮生活を言葉に表そうとすると「楽しい」の3文字以外浮かんでできません。

小中学生の頃は、帰ったらゲームやテレビなどを毎日のように見ていました。また、それらが学校から帰ってきてからの楽し

みでした。ここでの寮生活は毎日当たり前だったテレビやゲームがありません。ですが、それらを僕が今、欲しいとは思いません。それらに匹敵する、もしくはそれ以上の楽しさがあるからです。

考え方や普通が違う、友達や先輩がいて、身の回りのこと全てを自分でこなす。寮生活での全てのことが自分を変えてくれます。

僕は寮での生活は自分を大きく成長させてくれる、この上ない素晴らしい環境だと思います。

豊田高専専攻科へ入学して

きしがみ しゅんすけ
専攻科 電子機械工学専攻 1年 岸上 駿介



茨城高専での本科5年間を無事終え、紆余曲折を経てここ豊田高専の専攻科へとたどり着いて3か月が経ちました。始業時間や授業時間が違ったり、書類の申請の仕方が違ったりと慣れないことが多かったですが、慣れてしまえばなんてことはなく生活をしています。

全国で見ても恐らくほぼいないであろう他高専の専攻科への進学をしたわけですが、その話をここでしてもこれを読む皆さんにはあまり有益ではないので無難に専攻科の特徴についてお話ししたいと思います。まず、一番の特徴としては多くの授業で発表する機会があるということです。自分で資料を作成し発表するという課題が多いのは大変なことではありますが、誰かに何かを伝え

るという能力は今後どのような道に進むとしても必要になる能力です。それを授業の中で伸ばせるのは大きな特徴であると言えます。2つ目は機械系、電気系、情報系学生と社会人学生を交えて行う一気通観という授業です。この授業では一つの目標に対して構想設計から始め、それぞれの専門分野ごとに仕事を割り振り実際の製作まで行います。

学生の内にこのような体験をできるのは非常に貴重な経験であり、他の高専にもない授業なので対象の学生にとっては非常に大きな魅力となっています。このように、専攻科には本科では体験できない様々な体験が待っています。

寮祭



寮祭2019「零祭」

情報工学科 4年 さとう ななみ 佐藤 七海

今年の寮祭のテーマは「零祭」でした。このテーマには、新しい時代の始まりとともに楽しいスタートを切ろう、数字のゼロのようにみんなで心をつなげて輪になって盛り上がり、そして、ゼロ歳の赤ちゃんのように無邪気な心をもって寮祭を楽しもう、という意味が込められています。当日は2日も天候に恵まれ、素晴らしい寮祭となりました。

寮祭の良さ

寮祭の良さ、それはズバリ寮祭を通して「多くの人と仲良くなれる」ことです！

この寮祭は一人で作ることは到底できません。だからこそ、今まで関わってこなかった人とも協力していかなければならないのです。

しかし、実行委員はそれぞれ自分なりの、寮祭に対する考えを持っています。だからこそ、時にはけんかになることもあります。それでも、互いに支えあうことで100人以上のメンバーが一つの寮祭を作り上げていきます。そんな中でできた仲間は、だれ一人残らず、かけがえのない仲間になるはずですよ。

寮祭から学んだこと

私が何よりも大切だと感じたことは、「みんなを信じること」です。先ほどお話したように、寮祭は誰か一人の力で作り上げること

は到底不可能です。やるべきことや、やりたいことを分担して、誰かにそれを任せなければなりません。何かを任せるためにはみんなのことを信じるのが大切です。だからこそ、実行委員長になってから、各パートの活動に顔を出し、実行委員の様子を見たり、話したりすることでみんなと仲良くなるのが重要だと感じました。

私が実行委員長を務められたのは、あらゆることを、信頼できるたくさんの実行委員に任せられたからだと思います。

最後に一言

私は今年度の寮祭実行委員長をすることができて本当に良かったと思います。サポートしていただいた先生方、寮務係の方々、OB/OGの方々、そして何より、一緒に寮祭を作ってくれたパートナーリーダーをはじめとする実行委員のみんな、頼りない私を支えていただきありがとうございました。

今後、来場者全員が盛り上がることのできるこの素晴らしい寮祭が、何十年も続いていくことを願っています。



ロボカップ2019シドニー大会報告

電気・電子システム工学科 教授 ^{すぎうら} 杉浦 ^{とうこ} 藤虎

7/2～7/8までシドニー国際会議場(オーストラリア)で開催されたロボカップ世界大会2019の結果をご報告致します。出場したサッカー小型リーグディビジョンA(上位クラス)の結果は8位(昨年同相当)でした。以下、大会の詳細をご紹介します。

1日(月)午後名古屋を出発し、2日(火)早朝、南半球オーストラリア最大の人口を有す都市シドニー着。朝の外気は肌寒いが、陽が射せば半袖でも過ごせる気候。会場到着早々にロボットの調整を開始。フィールドサイズ12m×9mに対して従来8カメラで対応していたビジョンシステム(フィールド上空に設置するカメラ)が、今年から解像度の高いカメラ2台と広角レンズの仕様に変更されました。これによって複数カメラの重複領域



ロボカップ会場(シドニー国際会議場)

の干渉問題と調整の労力が減った一方、カメラ位置が高くなることにより照度が低下し、ビジョン映像からロボットが見えなくなる問題等が発生。さらに、我々は日本で正

規サイズのフィールドを使った練習ができなかったため、ロボットの動作がサイズに適應せず不安定になったり、止まらずに暴走したりするなど、アクシデントが頻発。セットアップ二日目3日(水)も会場で7時半から調整を開始するも、問題山積の状況は変わらず、翌日からまともな試合ができるか不安を抱えながら22時半に退場。

4日(木)予選初日。8チームが登録されたディビジョンAでは、各組4チームずつのリーグ戦が行われました。A組にはMRL(2016優勝:イラン)、OP-AmP(豊田高専OB)、TIGERs Mannheim(2018第3位:ドイツ)、KIKS(豊田高専)が入り、初戦の相手TIGERs Mannheimには1-7、第二試合MRLには0-6で、それぞれ敗れました。KIKSはデフェンダとキーパーの動きが安定せず、ボールを蹴ることも、ボールから離れて待機することもできない状況が続き、上位チームには完敗でした。



▲ 試合前の作戦会議



TIGERs Mannheim(ドイツ)との試合後に ▲

予選二日目5日(金)の第三試合OP-AmPには1-3で惜敗し、A組4位でした。6日(土)のラッキールーザー戦は、B組3位 RoboDragons(愛知県立大学)とZJUNlict(2019優勝:中国)にそれぞれ1-3で敗れ、8位に終わりました。

今年の世界大会出場学生は昨年参加した4名と初参加の1名の5名でした。留学経験もある5M大野真君は、堂々と主審を務め、意見を主張するチームの仲裁や試合のまとめに尽力してくれました。初参加の4E杉浦悠太君も英語が飛び交う会場で、レフェリーの指示通りの確に各チームに命令を送る副審を務めてくれました。2回目の参加となる5E鶴田泰隆君、内藤優星君、光岡稜真君も慣れない英語で相手チームとの交渉や対応、現地で起きた問題に対してその場でできる最善策など、迅速に取り組んでくれました。いつも思いますが、このような経験は学生の自信を養い、一回り大きく成長させる貴重な機会だと感じます。連日22時過ぎまで会場に対応してくれた労をねぎらうとともに彼らの努力に敬意を表します。今回、チームは今後やるべき道筋を確かめられたので一同努力を継続します。ロボカップに興味のある人は一緒にやりませんか。歓迎します。結果の詳細は下記URLをご覧ください。

<https://ssl.robocup.org/robocup-2019-results/>



世界遺産オペラハウスに寄り道



Aussie Beefにも挑戦



対MRL(イラン)戦(予選)

新 | 留 | 学 | 生 | 紹 | 介

よろしくお願いします

電気・電子システム工学科 3年

ゲレルフー バトバンディ

Gerekhuu Batbandi



モンゴル

こんにちは、私は電気・電子システム工学科の3年生へモンゴルから来たババです。豊田高専に入学する前に東京で1年間日本語学校に通っていました。

私は、日本に来る前に日本語の勉強をしたことがなかったので、東京で過ごした1年間は私にとって本当に有意義なものでした。東京にいたときは楽しいことも大変なことも経験しました。例えば、楽しいことでは、いろいろな国の友達を作って、同じクラスになって一緒に笑ったり

遊んだりしたことです。それに日本人の先生とも仲良くなり、日本のことをたくさん知ることができました。

一方、大変なことでは、寮の生活が初めてで、留学するのも初めてだったのでいろいろ困りました。しかし日本語の先生と友達が助けてくれました。

今年、豊田高専に来てたくさんの日本人の友達ができることができました。これから3年間、みんなと先生たちと協力して頑張り、高専を卒業したら、日本の大学に進学したいと思っています。日本の技術は世界でトップクラスなので、できるだけそれを学んで、国の発展に貢献したいです。よろしくお願いします。



夢が一つ叶いました!

情報工学科 3年

ニコラス リム ホンダ

NICHOLAS LIM HONG DA



マレーシア

私は豊田高専の情報工学科3年生のニコラス リム ホンダです。マレーシアから来ました。豊田高専で学び始めて3か月がたちました。私はマレー語、英語、中国語、そして今、日本語を勉強しています。

日本に留学することは私の夢でした。勉強は大変でしたが、留学できてとても幸せです。

私にとって日本語は非常に難しく、プログラミングの知識がほとんどないので困ることもあります。しかし、先生方は授業の内容を優しく説明して下さいるのでとても助かっています。チューターと先生方の

おかげで、私は豊田高専での最初の一步を踏み出すことができました。この豊田高専での3年間を楽しみたいと考えています。

私は水泳やボウリング、音楽が本当に大好きです。母国では水泳をしたり、ボウリングやピアノの練習をしていました。部活という文化のある日本に留学していますので、チャンスがあれば水泳部の練習にも参加したいと思っています。

豊田高専の皆さんと知り合いになりたいので、私に話しかけてください。これからの3年間、いろいろお世話になると思いますが、よろしくお願いします!



よろしくお願いします

環境都市工学科 3年

ジェラルド フィドラ アナク ベゲリ

GERALD FIDLER ANAK BEGELI



マレーシア

こんにちは。マレーシアから来た環境都市工学科3年のジェラルドです。日本に来てからもう2ヶ月が経ちました。八戸高専の見学会へ行ったことはありましたが、留学するのは豊田高専が初めてです。入学してからの高専生活の印象ですが、勉強だけではなく様々な活動も忙しそうです。しかし、寮生活には少しずつ慣れてきています。

私は母国の学校で2年間、日本語を勉強しました。しかし、流暢に話すことはまだできません。授業では、特に専門科目の講義で難しい単語がたくさん出てきます。最初は、授業の内容を理解しにくく感じまし

たが、今はチューターやクラスメートに聞くことで理解できます。完璧に分かるということではないですが、それはそれで自分で頑張らないといけないことだと思います。

勉強だけではなく、日本の習慣にもまだ慣れていないため、時々困ることがあります。テーブルマナーから挨拶まで、私の国とは異なりますが、ゆっくりと学んでいきたいと思っています。ことわざの通りに「習うより慣れろ」、勉強することも大切ですが、私にとっては時間をかけて経験し、慣れていくことが大事なのです。

目標に向かい、これからももっと頑張ります。皆さん、これから3年間よろしくお願いします。



これからもよろしく!

建築学科 3年

ムンフバト マンドハイ

Munkhbat Mandukhai



モンゴル

こんにちは、私は建築学科の3年生のマグィです。モンゴルから来ました。時間が経つのは早いもので、いつの間にか日本に来てもう2ヶ月になりました。

初めての留学生活なので、寮の暮らしや専門授業が心配でした。しかし、豊田高専に来て、友達もできて、日本の文化をよく学びながら、どんどん慣れていっています。先生やクラスの皆さんがとても優しく、授業の内容がわからなかった場合、優しい日本語で説明してくれるので私の勉強に大変役に立っています。留学生の日本語の授業も受けて

いるため、自由時間があまりないですが、バスケットボール部に入って部活も頑張っています。

日本に来る前は、日本はどんな国かあまり知りませんでした。モンゴル高専予備プログラムで日本語を勉強していた時、日本人の先生たちから日本についてよく教えてもらい、日本の文化や若者言葉なども一緒に学んだことが、日常生活に早く慣れることにつながったと思っています。留学をきっかけに、あまりやったことがないスポーツや海外旅行など、いろいろなことを体験してみたいです。

国立高専はたくさんありますが、豊田高専ほど良い高専はないと思います。皆さん、これからの3年間どうぞよろしくお願いします。



外国人留学生歓迎会

世界から豊田へ

第3学年に編入学した新しい外国人留学生の歓迎会を2019年4月23日(火)に行いました。今年度の新留学生は、マレーシアから情報工学科と環境都市工学科にそれぞれ1名、モンゴルから電気・電子システム工学科と建築学科にそれぞれ1名(うち女子1名)の計4名です。

この歓迎会は、新留学生を含めた外国人留学生と教職員、日本人学生が交流を深めるために、毎年この時期に行っています。今年度は、開会に先立ち田川校長を囲んで写真撮影が行われた後、開会の辞をはさんで、田川校長から歓迎の挨拶、教務担当副校長の塚本教授から挨拶・乾杯の発声があり、軽食やドリンクを楽しみながらの懇談の時間が設けられました。後半には、新留学生から自己紹介と抱負、引き続いてそれぞれのチューターによる新留学生の紹介といったスピーチがあり、それに続いて学生会会長、寮生会寮長から歓迎の挨拶もありました。その後は食べたり飲んだりしながらの形で、先輩留学

国際交流委員長 一般学科 教授 きたの たかし **北野 孝志**

生7名から近況や新留学生へのアドバイスといったスピーチもあり、歓迎会は終始和やかな雰囲気で行われました。最後に学生担当副校長の安藤教授の挨拶で締めくくられ、会全体が非常に楽しくも有意義なものになりました。

本校では2019年4月現在、マレーシア政府派遣による外国人留学生5名、モンゴル政府派遣による外国人留学生3名、文部科学省による国費外国人留学生3名、合計11名の優秀な外国人留学生が寮生活をしながら、専攻する専門科目、日本語・日本事情などを学んでいます。[マレーシア(5名)、モンゴル(5名)、カンボジア(1名)]

また、外国人留学生と学生・教職員との交流を深めるために年6回、外国人留学生懇談会を実施しています。6回の懇談会の中で数回、異文化理解活動として外国人留学生が母国の紹介を行います。海外の最新の情報を得ることができ、とても楽しい懇談会になっています。

その他の活動

- 4月 外国人留学生歓迎会
- 10月 研修旅行
- 11月 こうよう祭(文化祭)での模擬店出店(母国の料理を紹介:平成30年度はミーゴレン)
- 12月 東海地区高専外国人留学生交流会
- 1月 外国人留学生送別会
- 年数回 レクリエーション交流



外国人留学生とチューター、学生会と寮生会の役員



新規の外国人留学生とチューター(3年生)



校長挨拶



新規の外国人留学生とチューターによる自己紹介



歓迎会の様子



歓迎会の様子



歓迎会の様子

海外留学体験



初めての海外で学んだこと

建築学科 3年 ^{まつい みお} 松井 美桜 **留学先**
イギリス

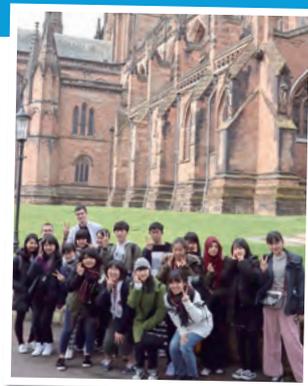
私は昔から留学をするならイギリスに行きたいと思っていました。今回2週間イギリスのダービーシャーに留学することができ、多くの素晴らしい経験をしました。

短期の留学だったため、毎日が盛りだくさんの生活でした。ロンドンやリッチフィールド、トヨタ自動車工場の視察、また現地の学校に通い、アフタヌーンティー体験などをさせていただき、日本ではでき

ない様々な体験をすることができました。そして、留学を通してたくさんの仲間に出会うことができました。

私は今回が初めての海外だったため、初めて異国の文化に触れ、驚くことがたくさんありました。商店街のお店が5時半で一斉に閉まったことや、見知らぬ人からフレンドリーに話しかけられたことなど、様々な驚きがあり、自分の知らない世界をたくさん知り、理解することができました。

初めての海外での生活に不安もたくさんありましたが、実際に行き、見て、触れてみないとわからないことがたくさんあることを知りました。そして、それはその後日本で暮らすうえで大きな財産となります。留学をするのに迷っている人も、自分だけの素晴らしい経験を是非試してみたいかがでしょうか。



リッチフィールドの大聖堂での集合写真



一緒に授業を受けた現地の学生



バッキンガム宮殿での集合写真

留学を通して学べたこと

環境都市工学科 3年 ^{おおいし もえ} 大石 萌 **留学先**
ドイツ

私はドイツでクリスマスをはじめとする異文化体験をしたいと思い留学しました。

ドイツで私はクリスマスシーズンになると、12月の第一週から毎週末ドイツの伝統的な焼き菓子をみんなで食べたり、いろいろな場所で開催されているクリスマスマーケットに友達や家族と行きました。また盛大なクリスマスパーティーも行いました。

留学生活は楽しい反面、予想以上にドイツ語が難しくドイツ語を使うことに消極的になってしまう時期もありました。学校では先生や友達がドイツ語のサポートをしてくれました。そのおかげでしっかりドイツ語を身に

に着けることができました。また、私は日本の文化紹介としてお寿司づくりや日本語を家族や友達に教えました。私はこの留学を通して異文化を体験するだけでなく、現地の方の優しさや温かさにふれて、国境を越えて絆を生むことができました。また、日本を離れて異国に行くことで自分自身を成長させることができたと共に、改めて留学に行かせてくれた家族への感謝の気持ちも増しました。この経験や気持ちを忘れずに生活していきたいと思います。



ドイツでともにドイツ語を学んだ日本人留学生



ホストファミリーとの寿司づくり



友達と行ったクリスマスマーケット

This is America

情報工学科 3年 **清本 航世** きよもと こうせい **留学先** アメリカ

アメリカ合衆国のミネソタ州という、冬は-30度まで気温が下がるところに行ってきました。アメリカ人は自分の意見を持って生きています。たとえ会話している相手が好きなものに対して話していたとしても話を合わせようとすることはありません。痩せているほうがいい、頭がいいほうがいい、友達は多いほうがいい。アメリカにはそんな



冬の凍った池の上



野球



スカルプチャーガーデンに友達と行った時

固定観念はありません。みんな自分を大切に、自分は自分、他人は他人というようにまさしく自分の人生を生きているからです。

私はアメリカに到着して最初の2か月間は何かもが新鮮で、このままの調子で頑張ろうと思っていました。しかし、3か月を過ぎた頃から自分の英語力のなさに気づき始め、なにもかもうまくいかない自分に嫌気がさしました。

しかし、そんな自分を認め、割り切ることでどんどん行動できるようになりました。また、自分で何が問題なのかを考え、それを克服するために行動することで納得のいく留学生活を送れたと思います。実際、アメリカで英語を学びましたが、それ以上に生きる上で大切なことも学びました。人の意見に流されやすい。そんな方は一回自分の心に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。



プロム

常夏の国での10カ月

環境都市工学科 3年 **河合 健斗** かわい けんと **留学先** フィリピン

寒いより暖かい方がいい。そんな理由で留学先にフィリピンという南国の国を選択しました。まずフィリピンに到着して一番に受けた印象は、暑い、ごちゃごちゃしているというものでした。

その時から一年たった今ですが、今でもその印象はいい意味で変わっていません。常夏の国であり、そのせいか歌うこと、踊ることが大



放課後の楽しみ



フィリピン最北端への旅行



はじめてのココナッツジュース

好きで本当に親切なフィリピン人のことが僕は大好きです。しかしその日本人と違う考え方によって戸惑うことも多々ありました。例えば時間にとってもルーズであること

などです。しかし日本人の常識が通用しないのが海外。僕は留学中、その状況も異文化理解であると前向きにとらえ、心がけていました。

フィリピンは海がきれいなどの観光地としてのイメージが強いかと思ひます。しかし実際はまだまだ発展途上国で、貧富の格差がひどく観光地のきれいな地域のすぐ横には、ゴミやスラム街が広がっており、目

をそむけたくくなるような光景がそこにはあります。この10か月間で、僕はフィリピンの光と影を見てきました。だからこ他の国ではできないような貴重な体験をすることができました。まだまだ魅力であふれている国フィリピンを今後も沢山のの人に伝えていきたいです。



お別れパーティー

魅力的なイタリア人に囲まれて

環境都市工学科 2年 **山本 泰子** やまもと やすこ **留学先** イタリア

私は小さい頃からイタリアへの留学を希望しており、ついに留学することができました。

私は北部にあるヴェローナという街で1年間過ごしましたが、南北交換というAFSイタリアのプログラムでシチリア島に1週間新たなファミリーと過ごしました。この1週間でイタリアでも南北で考え方や人間関係の築き方の違いに触れることができ、とても良い経験になりました。



学校のオーケストラの子達と共に

イタリアは南北だけでなく街ごとに文化や習慣などの面で違うことも多く、旅行するたびに新たなイタリアを知れてとても面白かったです。しかし、どこへ行っても心が広く暖かく、いつも笑顔を決やらず、フレンドリーな人間性は変わりませんでした。

私にはヴェローナとシチリア島とミラノにファミリーがいます。どのファミリーもまるで実の娘のように扱ってくれ、可愛がってもらい、幸せに1年を過ごせました。

私のクラスメイトもいつも他のクラスメイトと接するのと同じように接してくれ、何か問題があれば手伝ってくれました。学校最後の日に全員で半分泣きながら歌ったのはいい思い出です。

イタリアの魅力的な人々に囲まれて1年を過ごした私はちょっとでもitaliana(イタリア人)泰子になれたのでしょうか…?



定年退職される先生を囲んで



スキー教育



卒業式



卒業式



新入生歓迎会

入学式

豊田工業高等専門学校 入学式



フォト カレンダー PHOTO CALENDAR

● 2 FEBRUARY

- 2月1日~7日 後学期定期試験(専攻科)
- 2月 8日 後学期授業終了(本科)
- 2月12日~19日 後学期定期試験(本科)
- 2月 17日 学力選抜入学試験

● 3 MARCH

- 3月3日~5日 スキー教育(第2学年)
- 3月 20日 修了式・卒業式

● 4 APRIL

- 4月 2日 入学式
- 4月10日 新入生歓迎会
- 寮生総会
- 4月24日 学生総会



寮祭



球技大会



寮祭



自動車等使用実技研修会



第1学年合宿研修



第1学年合宿研修



安全を誓う日



東海地区高専体育大会(野球)



東海地区高専体育大会(弓道)



高専体育大会壮行会



東海地区高専体育大会(ハンドボール)



東海地区高専体育大会(卓球)

フォト
カレンダー
PHOTO
CALENDAR

5 MAY

- 5月11日~12日 寮祭
- 5月 18日 球技大会
- 5月 19日 自動車等使用実技研修会

6 JUNE

- 6月4日~6日 前学期中間試験
- 6月14日~15日 第1学年合宿研修
- 6月 19日 安全を誓う日・東海地区高専体育大会壮行会
- 6月 22日 実用数学技能検定

7 JULY

- 7月6日~7日 東海地区高専体育大会
- 7月26日~8月2日 前学期定期試験(本科)
- 7月29日~8月2日 前学期定期試験(専攻科)

高専体育大会報告(記録)

第57回東海地区国立高等専門学校体育大会

陸上競技	男子 女子	第2位 第3位	
水泳		優勝	
ソフトテニス	男子団体 女子団体	優勝 第2位	
テニス	男子個人ダブルス 女子団体	第2位 第3位	福岡 春輝・杉山 健也
卓球	男子団体 男子個人ダブルス // 男子個人シングルス 女子団体 女子個人ダブルス 女子個人シングルス	第2位 第2位 第3位 第3位 第3位 優勝 優勝	稲田 涉・柴山 尚輝 酒井 和希・角谷 俊輔 柴山 尚輝 鈴木 緋理・鈴木 まみ 鈴木 まみ
サッカー		優勝	
バスケットボール	男子 女子	第2位 第3位	
バレーボール	男子	第2位	
ハンドボール		優勝	
柔道	団体全国予選 男子個人90kg級 女子個人中量級	第2位 第3位 優勝	山崎 涼馬 磯部 朱梨

剣道	男子団体全国予選 男子団体勝抜 男子個人 女子個人	第2位 第2位 第3位 第3位	佐藤 孔聖 羽根 萌恵
弓道	団体 男子団体全国予選 男子個人全国予選 女子団体全国予選 女子個人全国予選 //	第2位 第2位 第2位 優勝 優勝 第2位	豊田高専B 高橋 敬多 勝又杜侑子 林 なご実
空手道	個人 形	優勝	田口穂乃佳
バドミントン	男子団体 女子個人シングルス	第2位 第3位	松浦穂乃果

陸上競技、水泳競技種目別優勝者及び全国大会出場者

陸上	男子100m 男子200m 男子400m 男子800m 男子110mH 男子4×100mリレー 男子4×400mリレー 男子 棒高跳 男子 やり投げ 女子200m 女子100mH	第1位 第1位 第1位 第2位 第2位 全国ランキング上位 第1位 全国ランキング上位 第1位 全国ランキング上位 全国ランキング上位	酒井 克実 中西 陽 中西 陽 小久保祐哉 稲熊 健太 酒井 克実・磯谷 光 小久保祐哉・中西 陽 藏地 唯斗 宮川 凌太 津曲 香奈 齋藤あおば
水泳	男子100mバタフライ 男子200mバタフライ 男子100m自由形 女子200m個人メドレー 女子100mバタフライ 女子100m平泳ぎ 女子100m背泳ぎ 女子4×50mメドレーリレー 女子4×50mリレー	第1位 第1位 第1位 第1位 第1位 第1位 第1位 第1位 第1位	赤木 秀征 赤木 秀征 山崎 拓海 渡邊詩保乃 渡邊詩保乃 吉川 雲母 加藤 桜子 清水 梨香・渡邊詩保乃 加藤 桜子・浅岡 美波 福井 千晴・渡邊詩保乃 早川 月菜・木野日央里

第54回全国高等専門学校体育大会

陸上	学校対抗戦 男子100m予選 男子200m予選 男子400m決勝 男子800m予選 男子110mH予選 男子棒高跳決勝 男子やり投げ決勝 4×100mリレー予選 4×400mリレー予選 女子200m決勝 女子100mH決勝	第12位 欠場 第7位 欠場 第2位 第2位 第2位 第2位 第6位	酒井 克実 中西 陽 中西 陽 小久保祐哉 稲熊 健太 藏地 唯斗 宮川 凌太 宮川 凌太・中西 陽 磯谷 光・酒井 克実 酒井 克実・中西 陽 磯谷 光・小久保祐哉 津曲 香奈 齋藤あおば
水泳	総合 男子100m自由形予選 男子100mバタフライ予選 男子200mバタフライ予選 女子100m背泳ぎ予選 女子100m平泳ぎ決勝 女子100mバタフライ決勝 女子200m個人メドレー決勝 女子200mリレー決勝 女子200mメドレーリレー決勝	第9位 第8位 第3位 第2位 第4位 第5位	山崎 拓海 赤木 秀征 赤木 秀征 加藤 桜子 吉川 雲母 渡邊詩保乃 渡邊詩保乃 加藤 桜子・吉川 雲母 清水 梨香・渡邊詩保乃 加藤 桜子・吉川 雲母 渡邊詩保乃・清水 梨香
卓球	女子シングルス 女子ダブルス	準優勝 予選ブロック2位	鈴木 まみ 鈴木 緋理・鈴木 まみ
サッカー		2回戦	
ハンドボール		予選第2ブロック 第2位	
ソフトテニス	男子団体	第3位	

第6回全国高等専門学校弓道大会

男子団体 男子個人 女子団体 女子個人	第3位 優勝 射道優秀賞 第3位	高橋 敬多 勝又杜侑子・林 なご実
------------------------------	-------------------------------	----------------------

第101回全国高等学校野球選手権愛知大会

Eブロック	2回戦	豊田高専 3-7 南陽
-------	-----	-------------

愛知県吹奏楽コンクール

大学の部	銀賞	
------	----	--

第26回全国高等専門学校将棋大会

男子団体 男子個人	第3位 第3位	木村 隼己
--------------	------------	-------

最後の高専大会

わたなべ たくみ
建築学科 5年 渡邊 拓実

サッカー部は、東海地区大会圧倒的優勝、全国大会優勝を目標に日々仲間と切磋琢磨し、東海地区大会では4試合無失点で全勝と他校を寄せつけず、3大会ぶりの優勝を達成しました。自分個人でも東海大会、全国大会共に優秀選手賞をいただくことができました。

キャプテンとして挑む高専大会は、これまでとは違い、OBの方々、保護者の方々からの熱い声援をいただく中で、多くの方々からの期待を裏切ってはいけないというプレッシャーや最後の大会だという焦りを感じていましたが、このような中で東海地区大会に優勝できた時の嬉しさは言葉にならないものでした。全国大会ではベスト8という結果を残すことができましたが、対戦相手との実力差を感じる引退試合となりました。ぜひ後輩たちには全国大会でも十分に通用する実力をつけ、東海地区大会でも連覇をし、全国大会でも優勝できるチームになってほしいです。



サッカー部

来年に向けて

おおおか だいすけ
電気・電子システム工学科 4年 ハンドボール部主将 大岡 大祐

私たちハンドボール部は、昨年の地区大会での敗退を糧に全国大会優勝を目指して厳しい練習を乗り越えてきました。しかし、地区大会では優勝することができたものの全国大会では力及ばず、悔しい涙を流す結果となってしまいました。この悔しい思いのまま終わりとありません。必死に練習し力をつけ、来年こそは何が何でも豊田高専に全国大会の優勝杯を持ち帰って来ます。期待して待っていてください。



ハンドボール部

2度目の全国高専体育大会

すずき
電気・電子システム工学科 2年 鈴木 まみ



私は東海地区高専体育大会卓球競技女子個人の部のシングルスとダブルスで優勝し、全国大会出場権を獲得することができました。全国高専体育大会のシングルスとダブルスは共に8月25日(日)に行われました。初めのダブルスでは予選リーグを2勝1敗の2位で通過し、3位決定トーナメントで敗れ、入賞することはできず悔しい結果となりました。その後のシングルスでは予選リーグを3勝0敗の1位で通過し、決勝で敗れ、準優勝という結果になりました。ダブルスでは緊張してしまいあまり足が動かす不安でしたが、シングルスでは気持ちを切り替え、思い切ってプレーをすることができました。優勝はできませんでしたが、去年の3位という結果よりも上の結果を出すことができよかったです。このような結果を出すことができたのは指導者をはじめ、応援して下さった方々のおかげです。周りで支えてくれている方々に感謝し、今度は優勝という結果が報告できるようにこれからも部活動の仲間とともに練習に励んでいきたいと思います。



卓球部

全国大会を終えて

ながさわ けいこ
機械工学科 5年 長澤 啓冨

東海地区大会の団体戦で優勝し、山口県で行われた全国大会に出場しました。全国大会では、予選リーグを1位通過し決勝トーナメント3位入賞という結果になりました。

全国大会では、心強いメンバーの活躍により予選リーグを全員無敗で切り抜け、決勝トーナメントに進出。メンバー全員いつも以上にテニスを楽しんでいたようにみえていい試合ができたのではないかと思います。決勝トーナメントでは近畿大学高専に敗れ3位という結果に終わりましたが、僕はキャプテンとしてこのメンバーと一緒に戦えたことを誇りに思っています。

ここまで勝ち進むことができたのは支えてくださった先生方をはじめ、厳しい指導をしてくださったコーチ、たくさん声援をくれた部員とOBの方々のおかげです。本当にありがとうございました。



軟式テニス部

新任教職員紹介

教員

New
Comer

戻ってきました

環境都市工学科 教授 やまおか しゅんいち 山岡 俊一



平成31年4月に環境都市工学科へ着任しました山岡俊一と申します。平成13年11月から平成31年3月までの17年5ヶ月、広島県呉市にある呉高専に勤務していました。また、高専機構の人事交流制度で1年間（平成25年度）、豊田高専に勤務した経験もあります。今回は、「転任」という形で豊田高専に戻ってきました。人事交流の時にお世話になった教職員の方が多く、懐かしさも感じています。出身は愛知県名古屋市です。地元に戻り、何も気にせず名古屋弁を使うことができるのは良いですね。でも、広島弁も良かったですよ。

研究分野は土木工学の計画系分野で、メインの研究テーマは住居系地区における生活道路の交通安全対策です。最近コンパクトな都市を実現するための立地適正化計画に関する研究も始めました。また、平成30年7月豪雨による西日本の災害を契機に、災害時における要配慮の実態と課題に関する調査研究も実施しています。昨年は呉高専のある呉市も大きな被害を受けました。災害発生から数日間は水道が止まり、鉄道や道路等の陸路もほぼ寸断され、水や食べ物、ガソリンなどの物資が届きませんでした。被災地での生活や活動を初めて経験し、災害に強いインフラ整備や避難システムの構築等が急務だと強く感じました。

豊田高専では、人々が安心して暮らせる国土・都市づくりに、研究と技術者教育で貢献していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

役人!?

建築学科 講師 はくた みとし 白田 太



区役所勤務19年9か月。ゼネコン勤務1年1か月。旧国立研究所非常勤1年数か月。異色の経歴とよく言われます（自分では異色と考えていませんが）。授業、学生指導および研究などとは縁遠いところから、今年の1月に建築学科の講師として着任致しました。

役所生活19年9か月。目の前の仕事が「住み続けたいと思える、安全・安心なまちづくり」に、そして区民のためになると考え、技術者として身も心も、区役所に捧げて参りました（ちょっと盛ってます）。区役所での地位、加給年金、年金振替加算、更には退職金まで棒に振り、豊田工業高等専門学校の教員となる決意をしたのにはわけがあります。

建築確認申請構造審査業務では、構造計算書において、「NGが算出されている」または、「計算ミスにより実質NGになる」ものがあり、建築基準法を遵守できない設計者が多くいます。設計の本質はどこにあるのか。何十年とその建築物を使用する建築主のことは考えているのか。このことを忘れ、建築基準法以前の倫理道徳から外れている“仮面建築技術者”が多くいます。

この仮面技術者を減らし、本当に建築主のことを考え、問題を解決できる“真の建築技術者”を育成したいと考え、豊田高専に参りました。

教員一年目でわからないことしかありませんが、豊田高専生と一緒に真の建築技術者となるべく努力して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

高専ブーメラン

環境都市工学科 助教 えぼた かずのり 江端 一徳



2019年4月に環境都市工学科へ着任しました江端一徳と申します。出身は愛知県で、私自身も豊田高専の卒業生です。寮では班長・指導寮生を経験し、5年間寮生活をしました。当時の寮は、創志寮もなく、大志寮が男子寮で、立志寮が女子寮でした。今の寮をのぞいてみると、今も脈々と受け継がれている朝体操をはじめ、班長・指導寮生のシステムが変わっていないことに大変嬉しく思います。高専で5年間を過ごした後は、専攻科へ進学し、さらに大学院に進み、博士の学位を取得しました。また、昨年度までは、民間の水処理会社で上下水道施設の基本設計をしておりました。そして、今年度よりご縁あって、母校の教育・研究活動に携わることができ嬉しく思います。

研究分野は水環境工学で、これまで森林河川の炭素量を推定するモデル開発に取り組んできました。また、ベトナムやネパールといったアジアの国々で水質調査を行い、海外の水問題にも携って参りました。これからは、学生の皆さんと一緒に世界の水問題に取り組み、地域のみならず世界で活躍する実践的な技術者育成に尽力したいと考えています。

この学び舎で、学生のみなさんがこの環境を最大限に活用し成長できるよう、できる限りサポートしたいと考えています。教育・研究とも、学生のみなさんとともに考え、学び、お互いに成長していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

函館の魅力と近況について

情報工学科 嘱託教授 みじわら たかひろ 藤原 孝洋

再雇用で函館高専から豊田高専に移りました藤原孝洋です。函館高専には13年間いましたが、忙しい中にも楽しく過ごすことができました。温泉付きのホテルで教職員合同の忘年会もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で勤務することができたことは幸せでした。

函館は、住んでみたい街のランキングで1位になったこともあり、歴史的景観も気候も大変魅力的な街でした。幕末の函館戦争をご存知だと思いますが、戦いの舞台となった五稜郭は、5月には5000本の桜が満開になり、市民は桜の下でジンギスカンを囲んで楽しんでいます。また、函館から車で40分ほどのところにある大沼は、大自然に囲まれ、背景の駒ヶ岳を含めて大変快適な所です。ただ、冬は路面が凍結し、氷の上を運転する怖さを痛感しました。幸い事故には遭いませんでしたが、スピンした車や路肩の雪にぶつかった車を見ることは何度となくありました。

そんな函館から、週末のテニスを楽しみにして、自宅がある浜松に戻ってきました。只今、参加できるテニスクラブを探しているところです。先日でも仲間誘われて参加しましたが、女性ペアに負けてしまいました。もう少しトレーニングが必要なようです。

豊田高専や豊田市の魅力は、これから探索したいと思っていますところですが、お薦めの所がありましたら教えてもらえると幸いです。2年間と短い期間ですが、よろしくお願い致します。



ゴールデンウィークに満開になる五稜郭公園の桜です。

新任教職員紹介 職員 *New Comer*

高専での新生活

たけうち じゅん 総務課調達係 武内 淳

この4月から総務課調達係でお世話になっております武内淳と申します。3月までは名古屋大学で1年半ほど調達関係の仕事をしていましたので、その経験を活かして……と思っていますが、システムや会計規則など大学とは異なる部分も多く、周りの皆様に助けてもらいながら日々の仕事をこなしています。特に発注事務に関して、大学では教員にも発注権が付与されていたため、ほとんど教員任せでしたが、高専では自分で業者に見積依頼をするところから始まるので、どこに頼めばいいかなど、まだまだ悩むことも多いですが、楽しく仕事をさせてもらっています。

今回の異動にあたり、過去の豊田高専在籍者から豊田高専はどんなところかを参考程度に聞いていたのですが、話に聞いていたよりも良い環境の職場に異動できて、内心ほっとしています。

また、高等専門学校ということで学生さんも若く、校内が大学とはまた違った活気に満ちているなど毎日感じています。直接かかわることは減多にないですが、調達の仕事を通して彼らの日々の生活が充実したものになるように職務を全うしてまいります。

最後になりましたが、まだまだ未熟者ゆえ皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々学び成長するよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



チーム豊田高専の一員として

いすはら
学生課教務係 出原 ゆめ



平成31年度4月より、学生課教務係で働くこととなりました。出原ゆめです。平成29年度に大学を卒業し、それから1年間、中学校で社会を教えておりました。今度は教員としてではなく、事務員として学校に通っています。慣れないながらも、先輩方に助けられつつ楽しく仕事をしています。

豊田市は母の地元で、このものづくりの町には親しみがありました。そんな町の、未来のものづくりを支えて行くだらう学生を育てる豊田高専で働けることに、大きな期待とよろこびを感じております。はじめは事務員の仕事が、教員の時とは全く違い、そのギャップに戸惑うことばかりでした。しかしこの豊田高専で日々学生と接し、先生方のサポートをしていくうちに、教員と事務員の役割は違っても、「学生たちの成長を助け、支援していく」ということには変わらないのだと実感するようになりました。そうして自分自身が「チーム豊田高専」の一員として役立てるようになりたいと改めて強く思うようになりました。そのためには、日々の学びが欠かせません。令和になり、平成生まれも「前時代の人」になってしまいましたが、新しい時代に置いて行かれることなく、自身をアップデートし、成長していきたいと思っております。

私の力不足で皆様にご迷惑をかけることもあるかと思いますが、少しでもお役に立てるよう努めて参りますのでよろしくお願いたします。

豊田高専に帰ってきました

やまだ まこと
技術部 山田 真



技術部に着任しました。山田真です。豊田高専は母校であり、平成5年から情報工学科に在学しておりました。その後、豊橋技科大進学を経て、茨城高専に技術職員(当時は技官)として就職しました。

茨城高専の技術系職員として17年3ヵ月所属しておりましたが、最後の4年間は茨城高専ではなく、東京八王子の高専機構本部事務局に併任辞令で勤務していました。

本部事務局では、全国の国立高専に対して、校内ネットワーク機器の一括調達を行うために奮闘していました。全高専を統一するという大事業において、大きな壁の一つが母校であったのは非常にやり辛かったです。また、豊田高専でも使われ始めたマイクロソフトOffice365の、全国的な運用のとりまとめをやっていました。

茨城高専では、情報系の実験実習支援や、校内情報系設備(演習室、ネットワーク等)の管理を中心業務としていました。豊田高専でも同様の業務を行うことになりそうですが、それ以外にも新しい分野の業務があるかと考えております。

私の本質は「考える人」です。システム設計的なことをやったこともあります。それ以上に、なんの役にも立たない知識というか、論理設計のようなものが頭に詰まっています。機会があれば紹介したいと考えております。

高専という組織、環境、そしてなにより母校でもある豊田高専に愛着があります。私の能力を使って、豊田高専がより良くなればと考えております。

3回目の豊田高専

はぎもと まゆみ
総務課施設係 萩本 真弓



平成31年2月から総務課施設係に着任しております。萩本真弓と申します。十数年前に豊田高専建築学科に入学し、専攻科を修了しています。その後、ハウスメーカーを経て、現在に至ります。本科生、専攻科生を過ごした豊田高専で、3回目は職員として豊田高専に勤務できることに大変喜んでおります。生まれは愛知県豊橋市です。ちくわと市電とカレーうどんの豊橋です。

私は、学生時代に施設係という仕事を知りませんでした。学生時代の私は自分自身が学生生活を送るために、教職員をはじめとする大人がどのように働いているか知り得なかったです。今も、分からないことが多いですが、毎日教職員の方々に支えられながら毎日を過ごしています。学生生活よりも学んでいると感じています。ただ、施設係は施設(建物)営繕を仕事としていますが壊れないに越したことはないので大切に使うてください、お願いします。

最後に、学生時代に恩師から頂いた言葉を書きます。「患者は経験から学び、賢者は歴史から学ぶ。」

この文章の意味について、当時はよく分かりませんでした。社会人となった今、経験というものは足枷になるときが多いと考えます。恩師から頂いた言葉の一部が分かった気になっています。施設係という仕事を通して、日々努力いたします。施設係の仕事が増えないように、よろしくお願いたします。

体験入学

こたに あきら
機械工学科 准教授 教務主事補 小谷 明

8月3日に今年で5回目となる豊田高専の体験入学が実施されました。猛暑日にもかかわらず、昨年度より100名以上も多い821名の生徒さんが来校し、50分の授業形式の講座を2つ、合わせて100分の授業を選択して体験していただきました。

講座内容は、昨年と同様に「学校説明講座」をはじめ、一般学科の「数学体験講座」、「理科体験講座」、「英語体験講座」、「高専女子講座」および5つの専門学科の体験講座の合計10講座です。

各講座では、豊田高専の特色や各学科の専門内容を活かした講義を行い、高専の魅力や工学の面白さなどを紹介しました。特に本校の学生が説明などを行った講座においては、中学生の皆さんに好印象を持ってもらえたのではないかと思います。

また、来校されました多くの保護者の方にも、多目的ホールにて本校の紹介や入試に関する説明を行い、豊田高専を知っていただく良い機会となりました。さらに、個別相談では、入試だけに限らず、寮生活をはじめとする学生生活や海外留学、学校行事、部活動などについて各生徒さんの状況に合わせた話をして、豊田高専についてさらに深くご理解いただけたものと思います。

この体験入学が、中学校の生徒さんにとって進路を決定するための情報収集の場として有意義なものとなり、さらには豊田高専に興味を持っていただける接点となったのであれば非常にうれしく思います。

当日は、暑い中で案内役や各講座でお手伝いをしてくれた本校の学生に大変感謝いたします。また、体験入学の開催に当たり、多くの教職員の方々にご尽力いただきました。ここに改めて皆様にお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



ICTのインフラ整備から 情報セキュリティ教育まで

ICTセキュリティ教育センター長 情報工学科 教授 仲野 巧



令和元年になり、平成9年からの「マルチメディア情報教育センター」から「ICTセキュリティ教育センター」(ICTSEC: ICT Security Education Center)に改名しました。

その理由は、センターの役割としてこれまでのパソコンによる音声、動画などのマルチメディアを利用したパソコン環境の提供から、情報通信技術(ICT)のインフラ整備などのハード面だけでなく学生及び教職員向けに情報セキュリティ教育などのソフト面のサポートを行うことが必要になってきたからです。

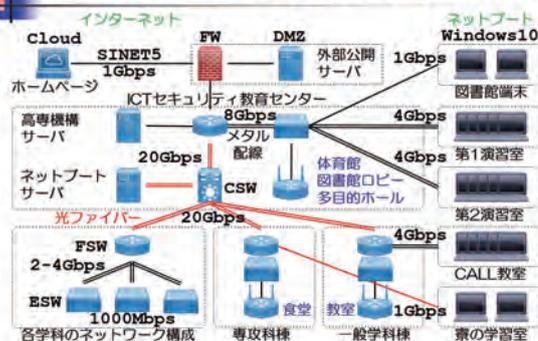
ハード面では、学外への学術情報ネットワーク(SINET5)に専用回線が1Gbps、第1第2体育館を含む全ての建物に光ファイバーを敷設し、速度は、サーバ系が20Gbps、ネットワークの中心装置であるセンタースイッチ(CSW)が20Gbps、各学科のフロントスイッチ(FSW)が10G-20Gbps、エッジスイッチ(ESW)のアップリンクが2G-4Gbps、そして末端のパソコンまで1000Mbpsを確保してあります。

そして、新しくネットブートサーバをCSWに接続することで、センターの2つのPC演習室と一般学科棟のCALL教室に同じWindows10パソコンをネットブートで起動する仕組みを構築しました。また時間外に利用できる図書館と寮の学習室に同様な接続で起動できるサテライト端末を設置しました。

さらに、教育で活用することを前提としたWi-Fiのアクセスポイントを全教室と合併教室、図書館ロビーや多目的ホールから体育館や食堂にまで設置しました。

ソフト面では、PC演習室には、授業支援システムを導入したため、教師の画面を学生に転送する、逆に学生の画面を全員に表示して発表させる、ファイルの配布/回収や提出する、

校内ICTインフラストラクチャー構成



(C)ICT Security Education Center (ICTSEC)

小テストや選択問題をリアルタイムで集計して表示するなど、学習の進捗や理解度の把握、個人に合わせたサポートなどが行えます。さらに、CALL教室には、音声や動画までの機能が利用できる外国語学習(CALL)システムを導入しました。

また、高専機構で契約しているOffice365やメールを学生が利用できるように説明会や講習会を開催し、授業でWi-Fiを利用するために必要な基礎的な情報モラル教材による教育などを実施しています。

今後は、ハード面では、ネットワークの速度向上などで飛躍的な進歩が見込めないため、ソフト面で、Wi-Fi環境を利用したアクティブラーニングなどによる教育への応用と全学生が情報セキュリティを遵守しながらICTを活用できる技術者になれるような教育が必要です。

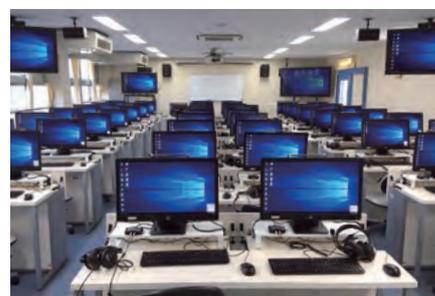
そこで、より実践的な教育として、世界的なネットワーク企業であるCISCOのセキュリティ教材などを活用した情報セキュリティ教育を学生及び教職員に実施する予定です。



センターの第1演習室



センターの第2演習室



一般棟のCALL教室



センターの演習室



図書館のサテライト端末

学生サポート室

前を向いて歩こう！

今年度から学生サポート室長を務めます、一般学科の榎本です。よろしくお願いします。就任以来、保健室に机をもらい、そこで作業をする機会が増えました。そんな私を見かけて、なんで保健室に居るのですか？と直球で問いかけてくる学生さんもいます。うん、確かに「物理」と「保健室」は繋がりがなさそうですね。正解は、「学生サポート室長」だから「保健室」に居るのです！

さて、学生サポート室という部署名に、ピンとこない人も多いのではないかと思います。学生相談室のことだと思われがちですが、実はそうではありません。皆さんに余り知られていないこの部署のことを、この場を借りて話してみようと思います。

学生サポート室は、3つの部門から構成されています。まず一つ目は「保健管理部門」。健康診断・健康相談の実施、学校の環境調査の実施など、皆さんの健康をサポートする部門です。二つ目は「障害学生支援部門」。障害を抱えて入学した学生の学校生活をサポート（合理的配慮と言います）する部門です。三つ目は「学生相談部門」。学生の皆さんの学校生活における色々な悩みに対して耳を傾け、解決の方法や対処の方法を一緒に考える部門です。なんとも守備範囲の広い部署ですが、保健管理部門長の安藤浩哉先生と、障害学生支援部門長の塚本武彦先生に支えていただきながら、なんとか業務をこなしています（なお、学生相談部門長は榎本の併任となります）。

特に「学生相談部門」については、今年度から新しいスタッフを迎えてスタートを切りました。まず、学生相談部門員として、学年主任および学科長の先生に入ってもらいました。学年主任は低学年（1年生・2年生）に配置されていますが、週1回程度の頻度で学年会を招集し、指導教員の先生からクラスの様子や学生動向について情報収集されています。同様に、学科長は高学年（3年生・4年生・5年生・専攻科生）の指導教員の先生から、2週間に1回程度の頻度で情報を収集されています。そのようなホットな情報を握っているキーマンに学生相談部門員を担当してもらうことで、問題を抱えた学生を早期に把握し、対応を相談できる体制を目指しています。同時に、学年主任や学科長による学年団・学科団での情報共有と指導相談を充実してもらうことにより、クラスで発生した問題の対応を指導教員だけに押し付けない文化を醸成したいと思っています。

学生サポート室長
一般学科 教授
えもと たかし
榎本 貴志



次に、スクールカウンセラーとして石田幸子さんが週4日で勤務してくれることになりました（笑顔の素敵なカウンセラーさんです）。昨年度から継続の須原カウンセラーが、石田カウンセラーを補佐する形での2名体制となります。石田さんにはカウンセリング業務だけでなく、学生向けの心理教育や指導教員に対するコンサルテーションも担当していただき、心理の専門家として学校運営をサポートしていただきます。

大人であれ子どもであれ、物事が上手くいくときもあれば、上手くいかないときもあります。原因は色々だと思いますが、先ずはあなたの困っているという想いを聴かせてください。もちろん、自分一人で考えることも大切だと思います。でも考えが堂々巡りに陥っているときには、話しに来てください。学生サポート室員の皆さんの知恵も借りながら、困りごとを解決できればと思います。一緒に前を向いて歩きましょう。



体験入学



体験入学



全国高専体育大会(卓球)



全国高専体育大会(ハンドボール)



全国高専体育大会(ソフトテニス)



フォト
カレンダー
PHOTO
CALENDAR

8 AUGUST

- 8月 3日 体験入学
- 8月 6日 夏季休業開始(本科・専攻科)
- 8月16日~31日 全国高専体育大会(中国地区)

9 SEPTEMBER

- 9月22日~23日 寮指導学生研修会
- 9月 24日 授業再開(本科)